

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	ケーズデンキ 巻赤館店 新潟県新潟市西蒲区赤館字砂山325番 他12筆 第一種住居地域、準工業地域 物販店, 2017年6月 竣工 7,910.40 m ² 2,060.50 m ² 2,010.25 m ² 地上1階 S造 竣工段階評価 2017年5月15日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.3}{43.6} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	3.5
			設備の更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み
設備配管はメンテナンス・修繕等を考慮し天井配管計画とした。
- 自然エネルギーの取組み
敷地内には植栽を施す計画とした。
- 資源循環の取組み
衛生器具は節水型を採用。
- 新潟のまちなみへの取組み
植栽・駐輪施設・エントランス前のオープンスペース等を設け、地域性への配慮及び快適性の向上に努めました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE® 新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築 (新築) 2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ケーズデンキ 巻赤館店	階数	地上1階
建設地	新潟県新潟市西蒲区赤館字砂山32	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準工業地域	平均居住人員	30 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,400 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2017年6月 竣工	評価の実施日	2017年5月15日
敷地面積	7,910 m ²	作成者	高桑渉
建築面積	2,061 m ²	確認日	2017年5月16日
延床面積	2,010 m ²	確認者	高桑渉



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 92%
 ③上記+②以外の 92%
 ④上記+ 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 清潔感のある店舗を目指し、耐久性・防汚性・清掃性への配慮を施した内装計画とした。 外壁部分の建具を必要最小限とし室内の熱損失を極力抑える計画とした。 節水型衛生器具等を採用し省エネルギーに配慮した計画とした。	その他 建設工事における廃棄物削減及びリサイクルを行う。	
Q1 室内環境 バックヤードの床仕上材は耐久性を持たせる為、塗床を施した計画としている。 又、内装仕上材はシックハウスに配慮した計画とした。	Q2 サービス性能 売場天井高さは3.9mとし、空間にゆとりを持たせる計画としている。 事務エリアはリフレッシュスペースとして喫煙室を設けている。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地外周部には植栽を施し敷地内の環境保全に配慮した。
LR1 エネルギー 高効率照明器具 (LED照明の採用)、高効率空調機の採用。 照明計画、空調計画によりエネルギーを削減した。	LR2 資源・マテリアル 仕上材はシックハウスに対応しF☆☆☆☆及び告示対象外の材料を用いて環境・健康に配慮した材料を採用した。	LR3 敷地外環境 営業時間外の駐車場の利用を控え、近隣への騒音、光害の低減に努める計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される